

科目名	音楽Ⅱ	単位数	2	学年	2	コース	全員	必選別	選択
教科書	高校生の音楽Ⅱ（教育出版）			副教材	MUSIC NOTE（啓隆社）				

### 1. 学習の到達目標

1. 視唱力の伸長を図るとともに合唱において主体的に表現を工夫する態度を育てる。
2. ヴァイオリン、篠笛等器楽演奏の基本的な奏法を習得させ、アンサンブルに親しむ。
3. 様々な鑑賞を通して、声や楽器の特性と表現上の効果、楽曲の歴史的背景を学ぶとともに、我が国の伝統音楽や世界の諸民族の音楽の種類と特徴について把握する。

### 2. 学習内容

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	歌唱 「ロマン派の音楽 セレナード（シューベルト作曲）	表現 (歌唱)	・正しい姿勢、横隔膜の動きを意識した複式呼吸法、声帯のポジション、体の共鳴等発声の基礎について学び、歌唱力を向上する。	観察・聴取
5	器楽 「クラシックギター」	表現 (器楽)	・脱力を図る体操、骨盤低筋群の強化運動、横隔膜を動かす呼吸トレーニングを行う。	観察・聴取 歌唱テスト
6			・合理的な体の使い方を持って声を響かせるベルカントの発声練習を行う。	観察・聴取 実技テスト
7		鑑賞	・ドイツ語の発音を習得し、ロマン派におけるドイツリート表現様式とシューベルトの音楽的特徴を理解し、それに相応しい表現を用いドイツ語の歌詞を覚え暗譜で歌う。 用い、個の能力に応じてETUDEを演奏する。	観察・聴取
			・1学年で習得した基礎奏法を基に、単旋律の曲から、コード奏法まで習得する。	
9	器楽 「ヴァイオリン」 歓びの歌、家路、	表現 (器楽)	・1年次の基礎をもとに、より高度な楽曲の演奏を習得する	観察・聴取 実技テスト
10	ソナタ 鑑賞	鑑賞	・4指の活用、移弦等高度なテクニックと表現を習得する。	観察・聴取
11	ベートーヴェン		・古典派における交響曲の発展と、ベートーヴェン	

1 2	第9交響曲		ンの音楽的特徴について学習し、さらには交響曲第9番が初めて交響曲に声が使われた音楽史的背景、シラーによるテキストの内容について理解して鑑賞を行う。	
1	歌唱 イタリア古典歌曲 愛の喜び（マルティーニ作曲）	表現 （歌唱）	・イタリア語の歌詞を暗譜し歌唱を行う。既に学習したカンツォーネと異なる、古典歌曲の表現様式で歌唱を行う	観察・聴取 暗譜による 歌唱テスト
2	器楽 クラシックギター	表現 （器楽）	・難易度の高い楽曲を用い、アルペジオやセーハ等の技巧を習得して、表現豊かに演奏する	観察・聴取
3	セレナーデ（シューベルト作曲）愛のロマンス（スペイン民謡、作曲者不詳） 鑑賞日本の音楽 雅楽	鑑賞	・貴族社会の宮廷音楽として伝えられてきた雅楽に親しむと共に、大陸から伝来し日本独自の变化を遂げた文化について理解を深める。	実技テスト

### 3. 評価の観点

音楽への 関心・意欲・態度	音楽活動の喜びを味わい、音楽や音楽文化に関心を持ち、主体的に音楽表現や鑑賞の学習に取り組もうとしているか。
音楽表現の 創意工夫	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、音楽表現を工夫し、表現意図を持っているか。
音楽表現の技能	創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身に付け、創造的に表しているか
鑑賞の能力	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、解釈したり価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わっているか

### 4. 評価の方法

音楽への関心・意欲・態度、音楽表現の創意工夫、音楽表現の技能、鑑賞の能力の4観点から総合的に評価する。

### 5. 担当者からのメッセージ

（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

- ・積極的に歌う姿勢と、歌唱の技術向上を図ります。正しいフォーム、体の使い方、必要な筋力等を習得し、大きな声で自己表現できるようにしてください。
- ・音楽選択者は2年生の最後の授業まで続けて校歌の練習を行います。式典等で機会があれば率先して大きな声で歌ってください。
- ・授業に欠席せず、真剣に実技に取り組んでください。